



資料1

放課後子ども総合プラン事業の実施状況について

ながの子育て
応援キャラクター

サイまる



こども未来部こども政策課

実施施設数・登録児童数の状況

ながの子育て
応援キャラクター



(1) 実施施設数の推移

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
児童館・センター数	42	42	42	42	42	42	39	39	39	37	35	34	33
子どもプラザ数(学校内)	46	46	48	48	49	49	49	49	49	50	50	50	49
児童クラブ数(民設施設)	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

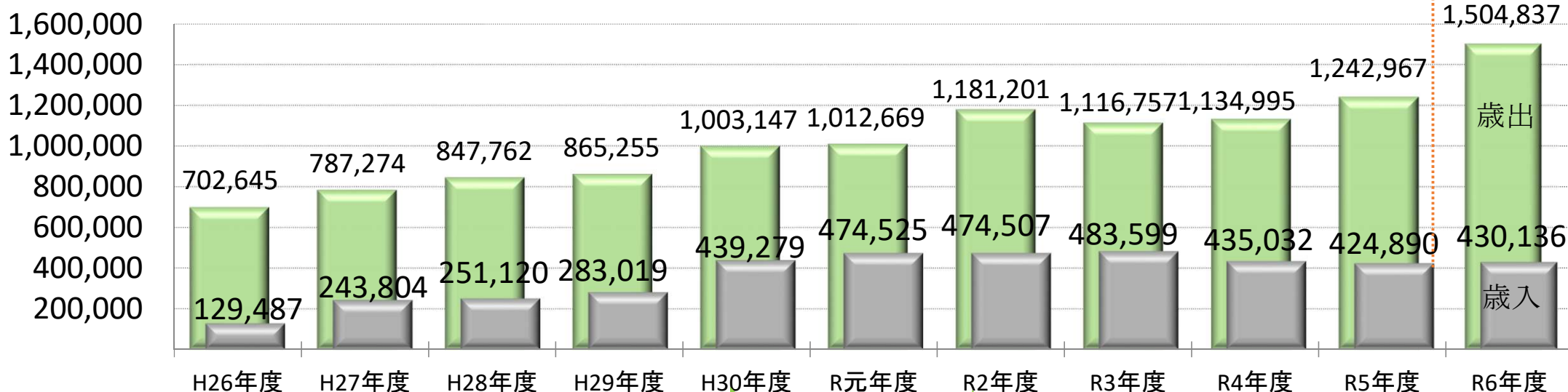
(2) 学年別登録児童数の推移

(各年5月1日現在)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5 [㉠]	R6 [㉡]	㉢-㉠	登録率
1年生	1,824	1,982	1,934	2,063	2,044	2,127	2,047	2,038	1,910	2,032	1,930	1,908	1,938	30	71.4%
2年生	1,871	1,756	1,943	1,897	2,027	2,031	2,051	2,041	2,011	1,872	2,029	1,948	2,011	63	72.5%
3年生	1,504	1,529	1,495	1,692	1,775	1,833	1,676	1,844	1,821	1,718	1,636	1,801	1,779	△22	61.7%
4年生	586	686	729	1,035	1,303	1,437	1,255	1,312	1,476	1,327	1,336	1,235	1,497	262	49.7%
5年生	324	314	476	620	844	951	864	883	953	898	942	858	952	94	32.4%
6年生	120	194	207	374	462	607	461	577	547	488	562	547	567	20	18.4%
合計	6,229	6,461	6,784	7,681	8,455	8,986	8,354	8,695	8,718	8,335	8,435	8,297	8,744	447	50.2%

事業費・登録児童数の推移

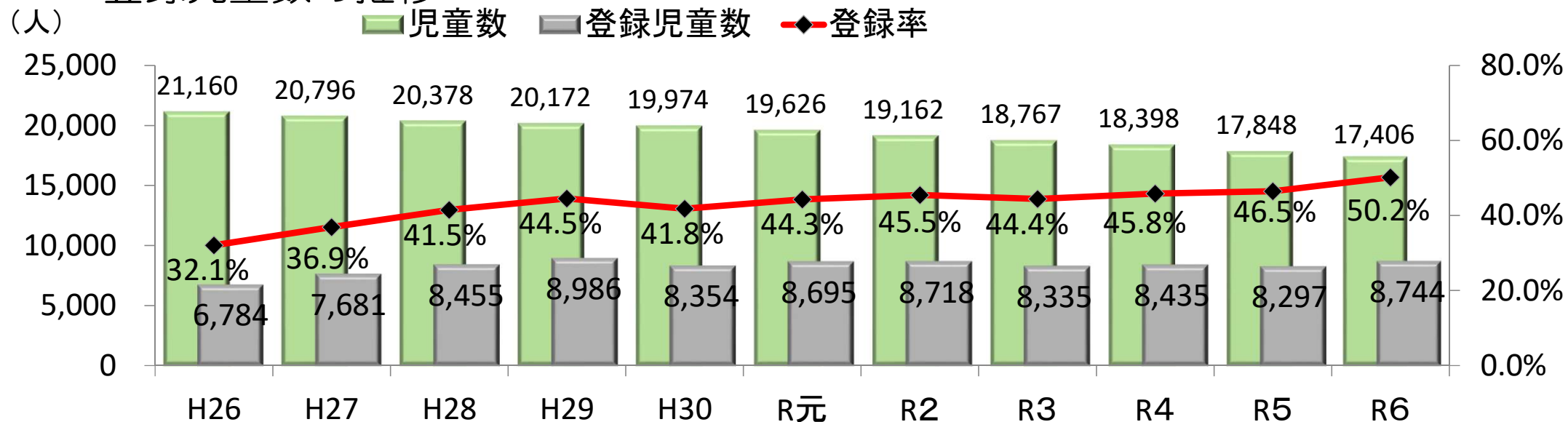
(千円) 事業費の推移



子ども・子育て支援新制度

利用料導入

登録児童数の推移



減免の適用状況

減免項目		減免理由	減免割合	月額利用料 (円)	該当児童数		
					R5年度①	R6年度②	②－①
減 免 な し			—	2,000	6,029人	6,301人	272人
減 免 適 用	経済的事情	生活保護受給世帯	10/10	0	11人	14人	3人
		市町村民税非課税世帯	1/2	1,000	91人	82人	△9人
		児童扶養手当受給世帯	1/2	1,000	283人	268人	△15人
		就学援助認定世帯	1/2	1,000	227人	215人	△12人
		経済的事情 小計			612人	579人	△33人
	地域性	遠距離通学児童等	2/5	1,200	70人	86人	16人
	多子利用	多子2人目	1/2	1,000	1,314人	1,455人	141人
		多子3人目以降	10/10	0	77人	114人	37人
		多子利用 小計			1,391人	1,569人	178人
	その他	減免項目の組合せ ^(※)			195人	209人	14人
減免適用 合計					2,268人	2,443人	175人
合 計					8,297人	8,744人	447人

(※)「減免項目の組合せ」は、「経済的事情」、「地域性」、「多子利用」の2以上に該当する場合をいい、その場合の利用料は、当該児童が該当するそれぞれの項目に定める割合を乗じて計算する。

例) 就学援助の認定を受けている世帯に属する児童2人がプランを利用する場合
1人目の児童 月額1,000円 (2,000円×1/2(就学援助認定世帯))
2人目の児童 月額 500円 (2,000円×1/2(就学援助認定世帯)×1/2(多子2人目))



プラン事業充実の取り組み①

施設環境の整備

■冷房設備の設置・更新・移設

令和5年度事業実績

- ・児童館・児童センターへの整備 11施設

令和6年度事業予定(※こども政策課予算分のみ)

- ・児童館・児童センターへの整備 2施設

■ICT化

令和4年度事業実績

- ・令和5年1月からコドモン(入退館管理システム)の本格運用開始

令和5年度事業実績

- ・口座振替WEB申込サービスの検討及び予算化

令和6年度事業予定

- ・口座振替WEB申込サービスの導入、口座情報登録の自動入力検討



プラン事業充実の取り組み②

職員研修の充実

令和5年度研修実績

- ・連携研修会 施設と学校との連携についての運営研修
(基調提案を視聴後、校区ごとに施設と学校による「連携会議」の開催)
- ・支援員等研修会(1) 各支援員が勧める「遊びと生活交流会」 講師:松本大 岸田教授
- ・支援員等研修会(2) 子ども理解「虐待等の理解と対応」 講師:信州大 下山准教授
- ・支援員等研修会(3) 「専門職としての支援員」を目指して 講師:町田市 小野支援員
- ・職場内研修 「小児救急・救命」について、動画配信により全職員視聴の職場内研修
- ・避難訓練 防災・安全意識向上のため、「避難訓練」を職場内研修として実施

令和6年度研修予定

- ・管理職研修会 校区責任者・館長研修 「総合プランの理解と運営・サービス 等」
- ・救急救命法研修会 「心臓マッサージおよびAED使用」について 講師:日本赤十字社
- ・プラン研修会(1) 遊びを通じた施設での子どもたちの関係づくり 講師:松本大 岸田講師
- ・プラン研修会(2) 子ども理解「愛着の問題 その理解と対応」 講師:信州大 下山准教授
- ・プラン研修会(3) 「専門職としての支援員」を目指して 講師:町田市 小野支援員
- ・職場内研修 「子ども理解と支援の充実」に向けて、配信資料を基に職場内研修
- ・避難訓練 防災・安全意識向上のため、「避難訓練」を職場内研修として実施



アドバイザーの活動状況①

アドバイザーとは

放課後子ども総合プランの実施場所において、放課後などの児童の遊び・学習・体験活動を支援していただく登録制のボランティアです（活動費の支給あり）。

登録方法

市が開催するアドバイザー登録説明会に参加の上、アドバイザー登録カードを提出します。

※令和6年度の登録説明会（年3回開催）の日程は以下のとおりです。下記以外でも登録希望者には説明会を実施しています。（要相談）

※学生に向けては各大学ごとに日程を調整して、実施します。

期日	研修	研修時間	研修会場
①4月25日（木）	アドバイザー説明会（1）	10:00～11:00	ふれあい福祉センター
②9月27日（金）	アドバイザー説明会（2）	10:00～11:00	篠ノ井交流センター
③1月21日（火）	アドバイザー説明会（3）	14:00～15:00	ふれあい福祉センター

登録状況

令和6年6月1日現在

区分		登録人数	団体数
一般	個人	192人	—
	団体	540人	70団体
学生	個人	144人	—
	団体	78人	12団体
合計		954人	82団体



アドバイザーの活動状況②

登録者数の推移

(人)

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
一般	841	847	833	841	956	931	841	766	732
学生	266	244	253	332	271	202	169	238	222
合計	1,107	1,091	1,086	1,173	1,227	1,133	1,010	1,004	954

令和5年度の活動状況

(延べ数)

登録区分	活動人数	活動団体数	実施回数	参加児童数
個人	3,005人	—	3,005回	62,430人
団体	2,213人	903団体	903回	28,681人
合計	5,218人	903団体	3,908回	91,111人



希望児童の受入校区拡大

放課後子ども総合プランでは、全小学校区における希望児童（理由にかかわらず事業の利用を希望する児童）の受け入れを目指しています。

本年度当初の受入状況

希望児童の受入校区 【49校区】

城山、鍋屋田、加茂、山王、芹田、三輪、吉田、裾花、城東、南部、朝陽、柳原、長沼、古里、浅川、芋井、安茂里、松ヶ丘、**通明**、共和、信里、塩崎、松代、清野、西条、豊栄、東条、寺尾、綿内、川田、保科、川中島、下氷鉦、真島、七二会、豊野西、豊野東、戸隠、鬼無里、大岡、信州新町、中条

（一部の施設で受入）

緑ヶ丘、大豆島、**若槻**、篠ノ井西、昭和、青木島、三本柳

※赤字の校区はR6年度から新たに受入

希望児童の受入校区拡大

留守家庭児童のみ受入校区 【4校区】

古牧、湯谷、徳間、篠ノ井東

長野市公共施設マネジメント指針に基づき、以下に該当する児童館・児童センターは、小学校の余裕教室等を利用した「子どもプラザ」への移行・統合や、小学校施設、他の公共施設との複合化について、地域や運営委員会、学校、施設等と相談しながら進めていきます。

- ・ 小学校内に、余裕教室や、長寿命化改修に併せて居室を確保できる場合
- ・ 小学校に隣接または近接していない（小学校からの移動時の交通安全や犯罪に巻き込まれる危険の防止）
- ・ 施設が破損、または施設の老朽化や損傷が著しく、施設の改修に多額の費用が必要（大規模改修や大規模修繕）
- ・ 施設定員に対し利用者数が大幅に超過（施設基準に不適合、密集の発生）

児童館・児童センターの子どもプラザへの移行状況

令和4年度	柳町児童センター	⇒ 城東子どもプラザに統合（老朽化・近接していない）
	豊野東部児童館	⇒ 豊野東子どもプラザに統合（老朽化）
	古里児童センター	⇒ 3年生を古里子どもプラザへ移行（利用者超過）
	柳原児童センター	⇒ 2年生の一部を柳原子どもプラザへ移行（利用者増加）
	篠ノ井中央児童センター	⇒ 2年生の一部を通明子どもプラザへ移行（利用者超過）
令和5年度	浅川児童センター	⇒ 浅川子どもプラザに統合（老朽化・近接していない）
	松代東条児童センター	⇒ 3年生を東条子どもプラザへ移行（利用者増加）
令和6年度	箱清水児童センター	⇒ 城山子どもプラザに統合（老朽化・近接していない）

長期休業中の昼食提供について①

ながの子育て
応援キャラクター



1. 背景

- ・【R5.6.28 こども家庭庁事務連絡】長期休業中の昼食提供に関して地域の実情に応じた対応を。
- ・市と施設、弁当事業者で協議し、意向が一致したため、試験的に一部の施設で昼食提供を実施した。

2. 試行内容

- (1)実施期間 令和6年3月18日～4月3日(土日を除く12営業日)
- (2)実施施設 3施設(若槻児童館、三輪児童センター、三輪子どもプラザ)
- (3)提供内容 おにぎり弁当(400円)
- (4)実施方法
 - ・保護者が事前に事業者(ち志ま)にLINEで注文し、施設では注文リストを見ながら弁当を配布する。
 - ・料金は事業者から保護者にLINEで月締め分の金額を請求し、保護者が事業者指定の口座に振込む。



[注文の流れ]

「お弁当の注文」
保護者→事業者

LINEで注文
前週木曜×切

「お弁当の配布」
施設→児童

リストを見て配布
当日中に容器回収

「請求」
事業者→保護者

LINEで請求額を通知
業者の口座へ振込

3. 試行結果

《注文者数》

施設名	登録数	のべ注文数	注文者数	注文者割合 (注文者数/登録者数)
若槻児童館	42	18	5	12.0%

参考 (三輪校区は周知期間が短く、情報が届かなかった保護者が多かったため参考とする)

施設名	登録数	のべ注文数	注文者数	注文者割合
三輪児童センター	176	19	4	2.3%
三輪子どもプラザ	82	14	3	3.7%
合 計	258	33	7	2.7%

《施設職員の感想》

- ・施設職員の負担は少なく弁当の配布もスムーズに行えた。
- ・弁当の置き場や業者の容器回収なども特に問題はなかった。
- ・児童によって食べる量が違うので足りない子や残す子がいた。

4. 保護者のニーズ

- ・弁当を手作りしたいと思う一方、80%以上の保護者に弁当作りの負担や衛生面での不安がある。
- ・80%以上の保護者が配達弁当の導入を希望している。
- ・夏休み中の利用希望者は95%に上っている。
- ・保護者が配達弁当に求めるものは多く、今後も保護者のニーズを捉えながら改善していく必要がある。

5. 夏休みに向けて

①施設数の拡大

7校区 13施設で実施(登録児童数:1,787人 全登録数の20.4%)

古牧(2)、三輪(2)、城東(1)、若槻(2)、通明(2)、篠ノ井東(2)、篠ノ井西(2)

②メニューの増加

お弁当のメニューを3種類に増やし、量や価格の選択肢を増やす。

③利便性の向上

- ・〆切を前週の木曜日から3日前に変更し、キャンセルも柔軟に対応する。
- ・弁当事業者による受注システムの導入により、スムーズな注文を可能とする。
- ・昼食提供に関するマニュアル等を整備し、現場でのスムーズな運用と、保護者が安心して利用できる環境を構築。



おにぎりランチ ¥300円
(ごはん120g)



スモールボックス ¥400円
(ごはん130g)



お好み弁当 ¥500円
(ごはん165g)